

特) 歯科医学教育国際支援機構ニュースレター 2025年9月号

ラオス初の歯科衛生士学校(正式には歯科衛生士養成コース)の開学式が、昨年10月、本コースが実施されるビエンチャン県 Phone Hong の公衆衛生学校(旧テクニカル・ナーシング・スクール)にて開催されました。開校式は日本の外務省の支援で作られた歯科衛生士学校の新しい校舎(集合写真の後ろの建物)で行われました。ここで、講義や実習が行われます。前保健大臣にも列席を賜り、歯科衛生士の養成はラオスにおける歯科医療の充実とラオス国民への健康の増進にとって画期的である、という祝辞を頂戴致しました。宮田理事長の挨拶のほか、政府の要人の祝辞を頂いた後、場所を移し、パーティとなりました。パーティには看護学校の学生たちによる伝統的な舞踊などが披露され、新しいラオスにおける歯科医療の進展をお祝いしました。



ラオスの歯科衛生士学校にデモ用のユニットを設置へ。

歯科の実習用にはデモ用のユニットが欠かせませんが、日本から歯科資機材設置のプロの技術者二名(岡崎氏と清水氏)が訪ラオスして頂き、設置して頂く予定でしたが、タイ側の業者の不手際でお二人の滞在中には設置が叶いませんでした。それでもお二人はラオス側が設置できるよう万全の準備をして頂きました。



写真は左からボラサク先生、清水氏、看護学校校長、岡崎氏、持田ラオス事務所長